



## 愛媛縣今治市

### 昭安幼稚園

四面海の小さい四國の地幼児保育のよく整つた岡山地方を近くに控へながらどこへ行くにも船や

汽車のお蔭を澤山に借ねばならぬ身には自然に總てが大變に遅れがち。同じ四國の土地にも立派な

お隣の香川縣も有りますに幼々として鈍い歩みには今更らお恥しく存じます。昨夏新庄先生を東京

よりわざわざ御來縣願ふ幸を得て吾縣下の爲に吾縣下保育教育の上に酷暑をもちとひなく三日間

實地指導保育を賜り保育の御講議に何かと縣下保姆並に學校低學年教師の方達のどれ丈に啓發され

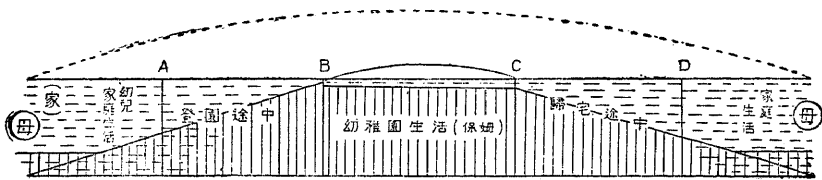
た事でせう。強い強い輝を與へられました事を今更に深く感謝致しております。文化の上に恵まれ

ない地ことに幼児教育は細々として歩みを續けてあります。決して都會のその如く周圍は多くの理

解を與へません。なさねばならん方面はいくつも横たはつてゐます。思はぬ大きい蹉跌も有ります。然しどこへ行つても母性愛の變りを持ちませぬ以上小さいながらも其の愛にその力に幼児教育は不斷の努力を拂はれて行きます。

幼稚園と家庭の聯絡の必要など今更ら申上る迄も有りません。幼児の生活が如何に斷片的に動くにしても幼児家庭生活は幼稚園生活に其のまゝの流れを持ち其のまゝの動きを持つてむかひ、幼稚園生活がいつも家庭生活に有つても幼児生活中心作用の上に大きい力がありまます事を信じます。が故に常に保姆は眞の母親に、母親は眞の保姆に共通な多くの點を見出します。眞の母は献身的生活を送ります。眞の保姆も又此の貴ひ母性愛を根底に總てを及さなくては何のその教育「行」はなされないうで有りませう。保育教育の道は唯母性愛その道であり絶對的なその愛に待たねば決して一瞬

# 幼 兒 生 活 全 體



A ヨリ幼児ハ登園ノ爲ニムカフ家庭の生活気分ハダグダシウスラガ

B ニ到リ幼稚園ニ入り全ク幼稚園生活ヲナス

C ヨリ又家庭ニムカツテ歸ツテ行ク途中

D ヨリ歸宅スソウシテ家庭生活ヲ始ム

ナレドモ幼児ノ生活ハ全ク家庭ニ入りタル後モ幼稚園生活ノ餘韻ヲ殘シ常ニ相重  
ムル気分ヲ持ツ其ノ生活ヲ明瞭ニ區別サレテキナイコトガ當然ダ夜ト晝トハ明瞭  
ナレドモ其ノ域ヲ明ラセザルガ如シ

家ト園トハ相違ハスレドモ其ノ域ニオイト気分ノ上ニ明ナラズ 而シテ常ニ保姆  
ハ幼児生活中心ヲ常ニ幼稚園生活ニ迄進展セシムルヤソウシテ家庭生活ト幼稚  
園生活トノ全キ聯絡ヲ計テ矛盾ナキヤウ保姆ニヨリテ其ノ行ヲ計ル

時もなされて行く事の不可能なものと思ひます。  
そこに全き幼児生活はより高く進められより美し  
くなされて行くものと確信します。開園以來こう  
した點御母様方幼児家庭生活を中心に進んで参り  
ました。年中機會のある度に御母様達は登園され、  
幼稚園の行事や努力の方面に充分の理解を持ち、  
家庭生活と幼稚園生活の遠い隔りの爲に起る様な  
種類の問題は非常に少ないやうに務められていま  
す。一方に幼児幼稚園生活實際、發達の情況等を  
よりよく理解願ひ幼児之幸福を計る爲に園の方に  
も保姆達は出來得る限りの努力を怠りませぬ。取  
り立て、申上る程の事は有りませんがその事項の  
中より列記して諸先生達の御指導に預りたく祈り  
上げます。

一、三五・三六頁上欄のものにより入園當初より  
その聯絡を計る。

二、毎月始に生活豫定表を家庭に送り行事及び生

幼兒通園路ト觀察事項

(裏面は通園の路筋を示す地圖)

| 園内生活觀察<br>ノ實際自然界<br>ノ事 | 昭和五年              |                 |        |      |    |    |    | 幼兒氏名 |     | 歲                   |
|------------------------|-------------------|-----------------|--------|------|----|----|----|------|-----|---------------------|
|                        | 著シク表ハレシ<br>イケナイ傾向 | 著シク表ハレシ<br>良イ傾向 | ヨクナイ傾向 | イ、傾向 | 勤作 | 習癖 | 言語 | 氣質   |     |                     |
|                        | 家庭ノ狀況             |                 |        |      |    |    |    |      |     |                     |
| 自宅環境ノ實際<br>自然界觀察ノ實際    | 種痘                | 希望              | 家庭ヨリ   | 同居人  | 健康 | 趣味 | 兄弟 | 姉妹   | 祖父母 | 自宅環境ノ實際<br>自然界觀察ノ實際 |
|                        | 第一期完了<br>年月       |                 |        |      |    |    |    |      |     |                     |

活の一部を知らず必要に應じて歌詞御話等を知らず。(次頁の例表は昨年度六月保育豫定)

三、樂しき遊びのあとを偲ぶ由にて畫手技等を家庭回覽の爲送り批評頁に母様の手にて随分多くの記せられしものが園に歸つて來る。

四、毎月誕生日を持つ御母様達が其の月中園との連絡の上に御世話下さる。特別な催や計畫の發展を助け下さる。

五、遊びの材料として各家庭より廣告紙、プログラム、マツチ空箱、キヤラメル箱、卷煙草箱、カマボコ板、麥ワラ、貝ガラ、等は絶ず母様達の注意により園内生活の暖い光を與へます。

六、母姉會が組織されてゐます(卒業園兒及在園兒の)母姉により決して形式的な名の會合でない事と何よりの力として常に開かれて行きます。醫士により幼兒病氣につき繼續講義を受け必要に應じ常に他の講習會を開く等。

活 生 ノ 月 六

| 自然<br>主要<br>事項  | 人事<br>主要<br>事項  | 事項<br>注意   | 談<br>話   | 遊<br>戲   | 唱<br>歌   | 手<br>技  | 季節ノ<br>影響<br>共同<br>遊ビ                           |
|---|---|--|--|--|--|---|---|
| 夏ノ仕度<br>一、麥及ビ豆刈<br>麥藁<br>ムギハラ細工<br>ムキノ粉<br>エンドウソラ<br>マメ<br>大豆小豆<br>二、新緑<br>時季ノ果物<br>梅、桃、イチ<br>ゴ、ビワ、橙<br>三、苗代<br>(園外保育)<br>四、梅雨<br>カビノ生エル<br>コト雨量、川<br>田<br>五、動物飼養<br>カタツムリ<br>カニ、ホタル<br>蝶<br>六、養蠶(上簇)<br>七、春タネマキ<br>シタ苗ノ植エ<br>ナホシナス、<br>キク、コスモ<br>ス等<br>八、朝顔ノ手入 | 衣服帽子傘其ノ<br>託兒所バザ<br>舊五月節句<br>武者人形<br>幟<br>幼兒色觀念調査<br>町ノ變化<br>氷屋ラムネヤ<br>ノ店ノ多クナ<br>ルコト<br>水マキ<br>雨具<br>鐵橋<br>中甸<br>保護者會 | 日ノ選ビテ麥藁ツ<br>ミニ行ク<br>(鳥生方面へ)<br>園内觀察<br>前月種マキチシ<br>タ<br>アサガホ<br>野菜ニ大變面白味<br>ヲ持チダス<br>花園ノ手入及草花<br>觀察力が大變ニ盛<br>ニナツタ<br>草花ヲ愛スル心チ<br>養フヤウ<br>園外保育<br>繼續觀察 | 焦ツク<br>ヤタ鳥<br>鯨ノアカチ<br>ヤン<br>豚ト鳩サン<br>羊ト狼<br>佐禮ノ犬<br>御菓子ノゴ<br>テン | 笹ノ舟<br>雨<br>蝨コイコイ<br>母サンオドリマ<br>セウ(ダンス)<br>リズム行進<br>チヨコレイト<br>テルテル坊主<br>前教練習 | 笹ノ舟<br>(前月豫定ノ<br>モノ都合ニ<br>テ本月<br>蝨コイコイ<br>チヨコレイト<br>テルテル坊主<br>前教練習 | 前月餘リニ粘土<br>細工ヲ趣味ヲ持<br>チシタメ<br>豆細工チナサズ<br>前月豫定通り<br>六月分<br>ヌリエ帳<br>粘土<br>佐禮ノ犬ヤ人<br>色合セ遊ビ<br>夜店ノ賣物<br>製作<br>折紙切紙<br>自由畫<br>縫ヒトリ | 八百屋遊ビ<br>夜店遊ビ<br>シヤホン玉<br>菓ツナギ<br>食堂遊ビ<br>色合セ遊ビ |

七、夏季山間保育を二週間若き母姉の方達も共に過す。決して思ふ存分の設備もありません。決して多くの運動具もございませぬ。整つた保姆もありません唯々絶ざる熱と絶ざる愛の力に園内常に清く流れ暖くふく風にやはらかなうるほいを與へられて行きます。

秋の運動會にエブロンや運動着を全部園内にて母姉の方保姆の手にて造ります。絶ざる園庭之果物に舌つゞみしつゝ。創立記念日や忘年會を園遊會の會食にお母様達の親しさをます事は泪ぐまし程に、歩みつゞけます。

こうした行 こうした聯絡、こうした親しさ、それは私立園個人經營の持つ特權私立園之持つプライド唯園の本質をそこねはせぬかと老婆心を持つ。小使一人ゐなくても保姆四人献身的に終日百人の幼兒に寢食忘れての歩みに幼兒生活は營まれて行きます。

海に近い所の幼兒、文化に恵まれない幼兒の上に切に幸福を祈りつゝかく書き終りし事を深く謝す。(五、四、二八)

### ○ 神戸慈光幼稚園内

われらの幼稚園ではすべて宗教的に教養してあります。たくさんの園兒はみなみ佛さまのお子供神さまの愛兒と心得て、私達保姆はその大切な神の子に奉仕させて頂きみ佛の子をお護りする覺悟でかしづいております。もし園兒に心身のうへに過ちでもあれば私達の信ずる佛さま神さまに相濟まぬと存じましてつねに高あがりをせうとする憍慢の心を慎しみ懺悔の心で仕へております、うつかりすると教へるとか育てるとか申す無反省な考へが起きましてお恥かしく存じております。

なほ家庭におきまして神さま佛さまの御冥見